

第8(9)回運営会議議事概要(1/2)

議事項目	第8回福島・毛馬管内運営会議 平成21年10月30日 16:30~18:30 OMMビル13F 河川環境管理財団会議室	第8回枚方管内運営会議 平成21年10月13日(火) 15:00~17:00 中央流域センター2F 多目的ホール	第9回高槻・山崎(大阪)管内運営会議 平成21年10月26日 14:00~16:00 高槻市生涯学習センター3F 第2会議室	第8回伏見桂川山崎(京都)管内運営会議 平成21年10月29日 14:00~16:00 上流域センター2F 会議室	第8回木津川管内運営会議 平成21年10月16日 16:00~18:00 京田辺CIK(商工会)ビル301 会議室
出席者(代理および欠席者数)	見識者(出席4、辞任1)自治体委員(出席3、欠席1)河川レンジャー(出席7、欠席1)出張所(2)事務局(6)	見識者(3)自治体委員(出席2、欠席2)河川レンジャー(6)出張所(出席1うち代理1)事務局(6)	見識者(3)自治体委員(出席3うち代理1、欠席1)河川レンジャー(6)出張所(2)事務局(6)	見識者(出席4、欠席1)自治体委員(7うち代理1、欠席5)河川レンジャー(出席5、欠席3)出張所(3)事務局(8)	見識者(2)自治体委員(8)河川レンジャー(4)出張所(出席1うち代理1)事務局(5)
退任・新任	小川力也(委員退任) 池宮實(新任レンジャー) 崎谷久義(新任レンジャー)		中川ゆり子(新任レンジャー)		

議事概要(1/2)

会議や活動の活性化に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・レンジャー報告の今後の課題には、活動中の問題点を明記する。論点を明確にする。 ・新しいレンジャーは地域と密着するまで指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政委員はレンジャー活動に参加してもらう。 ・活性化のため活動に参加した人の意見を聞く。 ・外来種除去は楽しい活動と抱き合わせでない人は来ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の活性化のため、参加自治体の窓口の一本化を進める。 		<ul style="list-style-type: none"> ・委員が何回か足を運ぶことによって清掃活動が更に活発となると思うのでできるだけ参加して行きたい。 ・運営会議がレンジャーをどう発展させるかの鍵をにぎる。自治体から意見を出して、叱咤激励していただきたい。
レンジャー応募者の増員に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・推薦されなかった方に対する調査、および最終受講者からのレンジャー応募者の居残り率が悪かったという点の要因分析が必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ制でレンジャー応募できるようにする。 ・アドプト制度に参加する人、団体の中から興味ある人、専門的にやりたい人を募る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レンジャー募集のアイデアは次のとおり。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 淀川発見講座の増員。 2. 大阪府アドプト制度のレンジャーへの適用。 3. 広報、ミニコミ誌(「サンケイリビング」「きつつき」など)への掲載依頼。 4. 芥川クラブのOBなど個人的な人の探索。 5. 河川モニター制度のなかの人の探索。 6. 市内での横断幕、児童のポスターなどでのレンジャー募集の呼びかけ ・最近の応募が激減している理由は何なのか、アンケートの結果を整理する。 ・退任されるかたのマスターレンジャー制度のようなものを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいレンジャー候補者についてのアイデア。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 活動の補佐をする人から選ぶ。 2. センターレンジャーが後継者をさがす。 ・自治会からのレンジャー候補者を選ぶ。 ・河川レンジャーを体験することで推薦できる制度を検討する。 ・若い人たちは活動に専念することは難しい。土・日の活動にならざるを得ない状況では声が掛けづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の応募者は、グループの応募を認めると増員に効果があるのではないか。 ・レンジャーへの公務員の応募を認めてはどうか。そのため、活動する土日は兼職にしない、などのルール改正が必要になる。
参加者の増員に関する事項		<ul style="list-style-type: none"> ・今後、大阪商大ゼミなど、大学生(若い力)へのアプローチが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宇治川で実施されている、ジュニア河川レンジャーを参考に、小学校の高学年を対象に、座学と現場を両方受講してもらい認定書を出すことで川に子供達を呼び戻す。 		
レンジャー活動の周知に関する事項				<ul style="list-style-type: none"> ・河川レンジャーが地域に受け入れられているかどうかの検証が必要である。 ・活動に際する中止や延期についての連絡方法について、マニュアルがあっても良い。何かルールが出来れば良い。 ・河川レンジャーに何が出来るのかをまず世に知らせることが大切である。 	

第 8(9)回運営会議議事概要(2/2)

議事項目	第 8 回福島・毛馬管内運営会議 平成 21 年 10 月 30 日 16:30～18:30 OMM ビル 13F 河川環境管理財団会議室	第 8 回枚方管内運営会議 平成 21 年 10 月 13 日 (火) 15:00～17:00 中央流域センター2F 多目的ホール	第 9 回高槻・山崎(大阪)管内運営会議 平成 21 年 10 月 26 日 14:00～16:00 高槻市生涯学習センター 3F 第 2 会議室	第 8 回伏見桂川山崎(京都)管内運営会議 平成 21 年 10 月 29 日 14:00～16:00 上流域センター2F 会議室	第 8 回木津川管内運営会議 平成 21 年 10 月 16 日 16:00～18:00 京田辺 CIK(商工会)ビル 301 会議室
------	--	--	--	--	--

議事概要(2/2)

事業連携の提案に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい取り組みでは広報が課題である。 ・「レンジャーと遊ぼう」などの報道を参考に、マスコミを利用した広報が大切だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2010 年には青年会議所と一緒に事業をしてほしい。 ・アドプト制度のレンジャー活動への取り入れは検討する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・学校などとの事業連携に際して「河川レンジャーとはなにか」などマニュアルを作成しておく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・四季菜館など沿川施設との水槽展示などの連携はうまくいっている。
自治体の支援に関する事項		<ul style="list-style-type: none"> ・市と連携するには、上層部とつながりを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営会議の委員の皆様には自治体の窓口となって頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体の発行されている「府だより」や市民新聞に河川レンジャー募集の広告媒体を利用させて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営会議の委員の皆様には自治体の窓口となって頂きたい。 ・安全面の確認に自治体(八幡、久御山など)からの人的な応援を得たい。
活動で困ったこと、あるいは改善すべき事項		<ul style="list-style-type: none"> ・感想メモを書く時間は、歩きながら記入してもらおうほうがよい。 ・レンジャーが河川整備計画などの研修をして市民を説得することになるのか。国は事業として何を伝えるか、明確な整理が必要である。 		<ul style="list-style-type: none"> ・携帯番号を公開して、活動情報の交換に利用してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・堤防のゲートの鍵がスムーズにいかない。確認に時間を要した。これを効率化(種類の統一・壊れの修理など)する必要がある。 ・川での安全対策ではスタッフの人数が必要である。事前に現地での準備がある。弁当の支給、予算の充実が課題である。
ツールに関する事項		<ul style="list-style-type: none"> ・パンフ「淀川の自然」は大変好評で、植物同定に便利である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レンジャーの旗(色や生地)が薄い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページは、今後は当日の連絡が出来るような方法を検討する。 	
トイレに関する事項				<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの管理は地域住民がやっていくとの協定が必要と考える。 ・トイレ候補地マップなどを作成する。 ・トイレについて、新たに作っていくという発想をやめて、企業や、学校、家電量販店などにお借りして行く。そういった協力者を求めていく。 	
ゴミに関する事項					<ul style="list-style-type: none"> ・粗大ゴミについては、レンジャーがグループリーダーになって自治体に報告することも考えたい。